

1	事業名称	自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成事業				
2	新規・継続	新規		新規		
3	趣 旨	青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子供の発達段階に応じて適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者を養成する。				
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日	期間
		1回	2月11日(土)	～	2月12日(日)	1泊2日
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家				
6	募集人数	20人				
7	共催・協力・後援	独立行政法人国立青少年教育振興機構本部				
8	参加者人数	11人				
9	参加者類型	男性7名、女性4名				
10	参加者地域	信州大学生10名 東京工科大学性1名				
11	参加者分析	今回の養成事業は、法人ボランティア資格を所有している方を対象とし、自然体験活動指導者（NEALリーダー）資格を取得するために必要な9.5時間を実施することとしたため、参加者は全員大学生となった。20名の募集に対し、11名の参加者と少なかったのは、周知期間が短かったためと思われる。				
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	
		100%	0%	0%	0%	
13	アンケートの主な記述	<ul style="list-style-type: none"> ・自然体験活動に限らず、教育現場の多くで活かせる知識や技能をご教授いただけました。 ・とても興味深い内容をゆったりとしたプログラムで学ぶことができとてもよかったです。 ・講義形式ばかりでなく、実際に活動する場面もあり、常に新鮮な気持ちで楽しく学ぶことができました。 ・今後の活動に活かすことのできる内容ばかりであった。 ・今後、法人ボランティアとして参加するうえで、役立つ情報を聞くことができました。 ・活動やグループごとの話し合いもあり、良い学びとなった。 ・実際に自然体験活動を試してみる中で特質を考えたり知ったりしたので理解が深まった。 ・平野先生の体験をもとに話していただき、講義なのに非常にアクティブな印象を受け、理解が深まった。 ・グループ討議の中で意見を出すとき、様々な視点があっっておもしろかった。 				
14	成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・2日間で9.5時間の講習という、ゆったりとしたプログラムだったので、満足度が100%となった。 ・事業に参加した理由は、「資格が取れるから」が81%、「内容に興味があるから」と「自分のスキルアップにつながるから」が64%と向上心をもって参加していることがうかがえる。 ・今後のボランティア活動に活かせるという感想があったので、内容面でも満足できたと考えられる。 				
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者をどのように確保するか、周知方法やプログラムの立て方を考える必要がある。 				
16	担当者メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・当施設に主任講師の有資格者がいないので、外部から招聘しなければならない状況にある。今後計画的に主任講師有資格者を施設として確保したい。 ・講師については、信州大学の先生お二人とNPO法人の方をお願いした。3人とも受講生に大変好評であり、今後もお願いしたい。 <p style="text-align: right;">(担当 小澤 亮)</p>				

プログラム展開		プログラム
日程・時間		
1日目		
9:30~10:00	受付	
10:00~10:10	開講式	
10:10~11:00	ガイダンス	
11:15~12:15	講義・演習「自然体験活動の特質①」	
12:15~13:15	昼食	
13:15~15:15	講義・演習「自然体験活動の特質②」	
15:30~17:30	講義・実技「自然体験活動の技術」	
17:30~19:00	入室・休憩・入浴	
19:00~19:30	夕食	
2日目		
7:20~8:00	朝食	
8:45~10:15	講義・実技「自然体験活動の指導」	
10:30~12:00	講義「対象者理解」	
12:00~13:00	昼食	
13:00~13:30	認定試験	
13:50~14:00	閉講式	

17



ガイダンスの様子



「自然体験活動の特質」での一幕



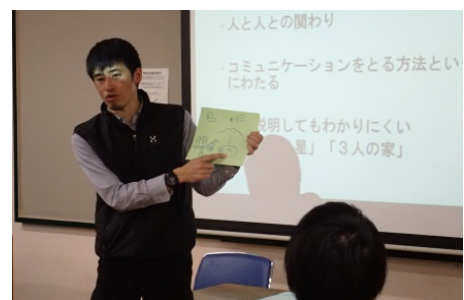
「自然体験活動の特質」で森のつながりさがし



「自然体験活動の技術」でアイスクリームを作るため雪の中で冷やします



「自然体験活動の指導」でグループワーク



「対象者理解」を学ぶ様子